

耕人塾のスタッフによるリレーコラム（まとめて読む場合は「〇件」を大きな数字にしてください）

## 感応道交

全ての記事 ▾

50件 ▾

### 民塾長のちょっといい話22

投稿日時 : 03/01  admin カテゴリ:

先日、10期『耕人塾』に向けての執行部会を開きました。来年度はコロナ禍も落ち着くことを想定して実施要項も第9期の内容をほぼ踏襲し、活動回数も通常の13回に戻しました。その中でラッキーだったのは、新しく本館が完成した「松島自然の家」での宿泊研修の仮予約ができたことです。研修会場や体育館も完備されているので多様な活動が可能です。具体的な内容については教学委員に検討してもらっています。新しいポスターも完成し、10周年記念式典や記念誌の発行もすることになりました。それぞれの担当が積極的に動いてくれていることが『耕人塾』の発展に繋がっていると感謝しています。

「安定してしまったら負ける」永世棋聖米永邦雄の言葉です。『耕人塾』でも毎年工夫改善していますが、今年は10周年ということで更なる創意工夫をし、「自主・楽しさ・創造」をコンセプトに、「世界に誇れる石巻地域」を目指して活動していきたいと思っています。

---

### 民塾長のちょっといい話21

投稿日時 : 02/23  admin カテゴリ:

コロナ禍で剣道の稽古ができず体がなまっていたましたが、先週久しぶりに高体連の稽古会に参加していい汗を流すことができました。私以外は5段から7段までの若手高校剣道部顧問で剣裁きも巧みでスピードもあるので気が抜けませんでした。その中に、2月7日の宮城県剣道選手権大会で2連覇したT先生もいます。稽古が終わった後、「お陰様で優勝することができました。3月に長野県で開催される全日本選手権大会では昨年以上の成績を残せるように頑張ります。」という力強い決意を聞くことができました。私からは「宮城県の剣士の夢なので、全力で頑張ってもらいたいこと。勝負はきわどいところで決するので最後まで気を抜かないで自分の剣道に徹すること。」を話し、激励しました。

T先生は全国でも有名な実力派の剣士ですが、謙虚な姿に爽やかさを感じました。全日本剣道選手権大会でどんな活躍をするかとても楽しみです。

---

### 民塾長のちょっといい話20

投稿日時 : 02/17  admin カテゴリ:

2月7日（日）の石巻かほく「つつじ野」の記事（一部）を紹介します。

「1月中旬のこと。東松島市矢本の信号のない交差点で、横断歩道を渡ろうと小学校の高学年くらいの男の子が様子うかがっていました。私より先に交差点に差し掛かったワゴン車の方が止まると、男の子は頭を下げてから、手をしっかり挙げ、横断歩道を渡りました。渡り終わると、くるっと向きを変えて、止まってくれたワゴン車の方に深々と頭を下げたのです。思わず『なんてすごいんだ』と、言葉が口から洩れてしまいました。」そして、「豊かさとは、このような事を言うのではないか」と結んでいます。

東松島市では「こころあったかイートころ運動（あいさつ・清掃・ゴミ拾い）」を実践してから12年になります。その運動が小中学生から地域に広まり、協働のまちづくりへと発展しています。『耕人塾』の「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」も多くの人を感動させていますね。

---

## 民塾長のちょっといい話19

投稿日時：01/28  admin カテゴリ:

先日、病院で診察の順番を待っていた時のことです。若いお母さんが小さい子をおんぶし、2歳くらいの女の子と手を繋いで入ってきました。待合室の隅この椅子に腰かけ、女の子と何やら小声で話しています。女の子は小さくうなずくと本箱のところに歩いていき、乱雑に入っていた絵本を直してから1冊を借りてきてお母さんと笑顔で話しています。会話を想像してみました。「Aちゃん、絵本を直してから借りてきたの？偉いね！」「うん、おうちでもやっているよ！」「次借りる人うれしいね！」「うん！」女の子の満足そうな笑顔とお母さんの優しいような雰囲気心が和みました。

「石巻市子ども未来プラン」では、子育ての第一義責任者は親であるという根っこを大事にしています。それは、行政は子育ての親を支援することであり、子育てを親から奪うことではないと思っているからです。病院でのお母さんを見て、親の素晴らしさを感じました。

---

## 民塾長のちょっといい話18

投稿日時：01/15  admin カテゴリ:

コロナ禍で年越し稽古も元旦稽古も中止だったので、自分を見つめなおす良い機会ととらえ、昨年1年間の「棚卸」をしたり、令和3年に挑戦したいことをいくつか書いてみたりしました。しかし、目指していることと自分がやっていることのギャップが大きく、気分の晴れ晴れとしない正月を過ごしていました。そんな時、たまたまテレビで「さだまさしの中村哲さんに捧げる曲『一粒の麦～moment～』」を観る機会がありました。皆さんご存じのように、中村さんは医師でありながらアフガニスタンの砂漠に水路を引き、「カカムラド」と呼ばれて尊敬されていたのですが、一昨年12月に銃撃を受けてなくなった方です。

中村さんは想像を絶する環境の中でエネルギーに行動した人ですが、「私に出来ることを為せば良い」という言葉を残しています。「理想や目標も大事だが、それを目指して今できることを淡々と実行することだ」と気づかされ、気持ちがとても楽になりました。

---

## 耕人塾での活動を振り返って

投稿日時 : 2020/12/26  admin カテゴリ:

私は石巻市出身で、大学から千葉県で生活していました。学生時代は陸上競技に熱中し、個人的な趣味でピアノを弾いていました。大学で保健体育の教員免許を取得したものの、社会人になって初めは千葉県でサラリーマンをしていました。しかし、教員になって陸上競技を指導したいという思いが強くなり、宮城に戻ってきました。

現在、勤務している学校のつながりで耕人塾の教学委員を紹介され、第9期から関わることになりました。初めて関わる立場として、私も塾生のつもりで学ぼうと動いていました。その中で様々な分野で活躍している方々の講話や塾生との交流を通して、自分にはなかった考え方や学びが毎回あり、とても勉強になっています。今後の人生に生かすとともに、引き続き教学委員として、そして塾生と社会に貢献できるよう頑張っていきます。(T.IZUMI)

---

## 民塾長のちょっといい話17

投稿日時 : 2020/12/22  admin カテゴリ:

12/8(火)の河北新報に「有馬朗人さん死去」の記事が載っていました。忘れられない思い出があるので「いい話」として紹介させていただきます。

有馬先生は原子核物理学者で文相や東大総長等を歴任し、中央教育審議会会長として学校週5日制の実施などの答申をまとめた方です。私が50代の頃、仙台に講演に来られ「これからの教育」と題して熱く語られました。詰め込み教育よりも、基礎基本をしっかりと教え、思考力や応用力、課題解決力を養うという有馬先生の考え方に共鳴していたので、講演会終了後に無理にお願いをし、新幹線の出発時間まで「ゆとり教育」の重要性や導入の意図などについて親しくお話をうかがうことができました。その時の信念に満ちた穏やかな表情が今でも忘れられません。先週、有馬先生と何度かお話ししたことがある次兄からも追想メールが届きました。有馬先生がいつまでも心に残っているのはなぜだろうと考えています。有馬先生のご冥福をお祈りします。

---

## 心温まるメッセージ

投稿日時 : 2020/12/16  admin カテゴリ:

先日行われた第6回耕人塾。ここ最近、石巻管内でも新型コロナウイルス感染者が増加していることを踏まえて、新型コロナウイルス感染症予防のため欠席された塾生もいました。その欠席の連絡をいただいた塾生の保護者からのメッセージを紹介します。

本日の耕人塾参加について最近のコロナの状況により暫く考えておりましたが、今回は不参加とさせていただきます。コロナ発生の状況を踏まえて、他の方にご迷惑掛けるようなことがあっては申し訳ない、と子供たち4人で決断いたしました。今まで、耕人塾の皆様には大変お世話になり、本人たちも無欠席で参加していたのですが、最後にこのような事態になり本当に残念に思っています。

耕人塾にお世話になってから子供たちの自主性や他の人を思いやる気持ちなど、親から見ても成長している姿が現れております。また、参加しているN中学校剣道部の4人の子供たちの絆も深まり、後輩との関係やまとまりも良くなりました。耕人塾に参加させて本当に良かったと、心から感謝し御礼申し上げます。閉塾式に出ることよりも、ここまでのプロセスが大事であり、本当に残念ではありますが、木村先生始め、運営にかかわる皆様との出会いに感謝申し上げます。お詫びと御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

とても心が温まるメッセージでした。耕人塾の活動が塾生の心の成長につながっていることは教学委員としてもとてもうれしいことです。第9期の活動は終わりましたが、第10期も塾生との出会いを大切に自分のふるさとのために貢献できるような、そして塾生が「参加して良かった」と思えるような活動を考えていきたいと思っています。(T.KOMATSU)

---

## 民塾長のちょっといい話16

投稿日時: 2020/12/15  admin カテゴリ:

12/12(土)、第9期最後の『耕人塾』が終了しました。コロナ禍の中で計画の大幅な変更や活動回数を減らしての取組でしたが、充実した内容で終了できたことは多くの方々の配慮と努力があったからと心から感謝しています(ホームページの「耕人9-6」参照)。最終日の個人実践発表は、ゴミの分別から考えたことをまとめたり朝市の企画から農家とのつながりをまとめたりしたものなどバラエティーに富み、塾生の努力や成長が感じられる感動的な内容でした。中には深い考察や将来への展望について提言したものもあり、コンセプトである「主体・楽しさ・創造」を深めることができたとうれしく思っています。

来年度は節目の第10期になります。新たに設立された「サポーターの会」や「塾生OB会」の具体的な取組も含めて、『耕人塾』の活動をさらに充実させ、他団体とも連携しながら大きなうねりに繋げていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

---

## 出会い

投稿日時: 2020/12/09  admin カテゴリ:

私は山形県北部にある鮭川村出身です。宮城県には高校生の時、震災をきっかけに山形から何度かボランティアで訪れていました。大学は北海道へ行きましたが、「あのとき手伝った場所は今、どうなっているのかな」という気持ちは忘れられませんでした。大学で教員免許を取得し、いざどこで働くか考えていた時、高校時代に感じた石巻の方々の想いを思い出しました。北海道から東北の宮城へ教員として戻ることはとても胸が熱くなる選択でした。

今、地域で活躍されている方々と耕人塾で出会うことができ、またボランティアで訪れたこの石巻地域で働けていることにとても感謝しています。また、この耕人塾は、活躍する大人と将来に希望を持つ生徒の素敵な出会いの場、学びの場であると思います。教学委員として、石巻地区の住民として、生徒たちとともに社会に貢献し、関わっていききたいと思っています。(KUROSAKA)

---

## 民塾長のちょっといい話15

投稿日時: 2020/11/30  admin カテゴリ:

先週、工房で彫刻をしていたら、向かいで工事をしている板金屋の社長さんが見学に来ました。40代で独立し、今では10数人の従業員を抱える経営者だそうです。Aさんの言葉を紹介します。「面白いものをつくっているねえ。俺は彫刻のことは分からないが、バランスや動きがいいねえ。俺もモノづくりだけれど、仕事は丁寧できれいでないとだめだね。いい仕事は相手に伝わるんだよね。仕事はやれば終わりではなく、自分のやった仕事に責任を持つということが大事、従業員にもそのことを言っているか

ら、皆仕事は丁寧だよ。それが信用に繋がるんだよね。やっぱり、従業員は大事だよ。俺の分も働いてくれているんだから、いつも感謝していますよ。結局は仕事でもなんでも人が大事なんだと思うね。」

柔らかな表情で朴訥と話すAさんの言葉から、温かさや誠実さが伝わってきました。職人の方のあいさつも皆穏やかな笑顔で、社長さんの姿が伝わっているのだと思いました。

---

## トイレのスリッパから見えるもの

投稿日時 : 2020/11/25  admin カテゴリ:

私には、いつも感心をもって見てきている場所（物）があります。それは、剣道大会の会場になっているトイレのスリッパです。地区大会であれ、県大会会場であれ、そのスリッパは、ほとんどの場合、整然と整った姿を見せてくれているのです。

ある会場で、剣道着姿の選手が自分が使った以外のスリッパを整えている姿に出くわしました。「偉いね、ありがとう。」と声をかけるとニコッと会釈をして出ていきました。

たったそれだけ、当たり前のことです。しかし、そこから技術の上達だけでなく、心も耕し、成長してきただろう選手の姿を感じずにはられません。これからもトイレのスリッパから目が離せません。(masuiku)

---

## 民塾長のちょっといい話14

投稿日時 : 2020/11/21  admin カテゴリ:

石巻専修大学『耕人塾』事務局宛てに届いたはがきを紹介します。

「日を追うごとに寒さが増してきました。コロナにも負けず活動していらっしゃる御塾の活動に頭の下がる思いがいたします。又、本日11月8日の朝、立町をきれいにさせていただき、ありがとうございます。立町の人達も、店を開けた時に通りがきれいで喜んでおりました。静かに、さりげなく行動するお姿に清々しい感動と、お手伝いしなかった恥ずかしさも感じております。気候も環境も厳しくなります。どうぞ御自愛くださってますますのご活躍をお祈りいたします。ありがとうございます。」はがきをくれた方は「民塾長のちょっといい話13」で紹介した40年前の教え子Iさんです。

『耕人塾』での実践活動を理解していただいていることがうれしいですね。「継続は力也」これからは「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を楽しく実践していきましょう。

---

## withコロナ

投稿日時 : 2020/11/13  admin カテゴリ:

1か月ほど前に勤務校の運動会がありました。今年は、プログラムの縮小や入場者の健康チェック、フィジカル・ディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じての実施となりました。準備や計画、運動会当日の対応等でもこれまでにない苦労がありましたが、子供たちの頑張る姿、それを見守る家族の笑顔を見て、実施して良かったと思えました。また、偶然にも赤組・白組が同点となり、同時優勝という忘れられない運動会となりました。

耕人塾の活動も、今年度は開催するか否かの検討から始まってここまでできています。回数は例年よりも少なくなっていますが、活動の質は落とさないようにと教学委員で話し合っって計画を立てています。話し合いはZoomを使って行うようになりました。1年前に想像もしなかったことで、ものすごいスピードで世の中が変化していることを感じます。今後もしばらくはwithコロナの生活を強いられると思いますが、物事の本質を見失ないようにしつつも、急激な時代の変化に置いて行かれないように自分も成長していかななくては！と感じています。(MAEDA)

---

## 民塾長のちょっといい話13

投稿日時 : 2020/11/11  admin カテゴリ:

11/8(日)、『耕人塾』での石巻駅前周辺のゴミ拾い活動に40人以上集まってくれました。私の収穫はゴミ拾いをしながら塾生や教学委員、保護者の方とたくさん話をする事ができたことです。進路のこと、仕事のこと、趣味のこと、将来のことなど……。心のちょっと深いところに触れることができたように感じ、温かい気持ちになりました。

ゴミ拾いが終わって石巻駅近くで、「先生おはようございます。ゴミ拾いしていたんですか。私も手伝います」と40年も前の教え子(これまで川開き後のゴミ拾いに何度か参加してくれた人)に声を掛けられました。「もう終わりました」と言ったら「いつもありがとうございます。今度お声がけください」と言ってにこやかに手を振って行きました。

今回のゴミ拾い活動で、心の交流が優しさや温かさを与えてくれるのだと気づかされました。「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」を通じて「心の交流の輪」をもっと広げたいですね。

---

## 民塾長のちょっと感動した話3

投稿日時 : 2020/11/06  admin カテゴリ:

朝ドラ「エール」にはまっています。第100話、戦後の混乱の中でどん底に落ちた久志が裕一に誘われて甲子園のグラウンドで熱唱する「栄冠は君に輝く」にほろりとききました。その日の「あさイチ」で、久志を演じる山崎育三郎がゲストとして出演し、小・中学校時代は野球に夢中になっていたことや人見知りの性格を直そうと母から進められて歌のレッスンを受けていたことなどを知ることができました。また、戦争を鼓舞する歌手であったという苦悩と葛藤を演ずるために5kgも減量した秘話や役に徹する姿に「プロはすごい!」と感動しました。「エール」には古山裕一役の窪田正孝や音役の二階堂ふみみをはじめたくさんの俳優が出てきますが、一人一人の演技のすばらしさに心を打たれます。

「プロというのは寝ても覚めても仕事のことを考えている。生活すべてが仕事。そこがアマチュアとの絶対差だ。」相田みつを(書家)の言葉です。深いですね。

---

## 背中越しの挨拶

投稿日時 : 2020/11/04  admin カテゴリ:

毎週火曜日と金曜日に「燃やせるゴミの日」があり、私は、家の周辺を歩きながら落ち葉や捨ててあるゴミを袋に入れ、パンパンになったところでゴミ袋を指定された集積所に置くようにしています。

ゴミの集積所まで歩きながら、近所の人と挨拶を交わすのですが、先日ゴミを拾っていて通学してき

た小学生に気づかないでいる私の背中越しに「おはようございます」と小学生の子供たちが声を掛けてくれました。

挨拶はとても短い言葉ですが、背中越しの挨拶を通して相手の気分を一瞬で幸せにさせてくれる「魔法の言葉」だと感じました。学校においても、家庭でも、地域の中でも、毎日明るい挨拶を響かせてほしいと思います。(YOKOE)

---

## 民塾長のちょっといい話12

投稿日時 : 2020/10/28  admin カテゴリ:

10/24 (土) 第4回『耕人塾』の前に30分程度の教学委員研修と打ち合わせを行いました。研修では「耕人」9-4の資料を使って「ほう(報告)・れん(連絡)・そう(相談)・にん(確認)・じん(迅速)」の大切さについて話し合いました。初めての試みなので深まるまでにはいかなかったため、次回は研修時間等をさらに工夫することにしました。その後の打ち合わせで、ホームページコラム欄「感応道交」を運営委員や教学委員も執筆する提案がなされ、11月から早速実施することに決めました。これまで塾長の執筆がほとんどだったので、どんな人がどんな内容の記事を書いてくれるかとても楽しみです。

本年度の『耕人塾』のコンセプトは「主体・楽しさ・創造」ですが、今回の教学委員研修や「感応道交」への輪番制執筆は、コンセプト実施への一歩を踏み出したこととなりますね。コロナ禍で活動回数は減りましたが、今年度は多くの工夫や発見の年になりそうです。

---

## 民塾長のちょっとワクワクする話3

投稿日時 : 2020/10/16  admin カテゴリ:

最近、自然木でスツール(背もたれの無い一人用腰掛)を作っています。天板はツリーハウスを解体した時の残材やテーブルを作った時の端材、脚は須江山を間伐した時の栗の枝を加工します。樹種も形もまちまちでそれをどう加工するかを考えながら作っていると思いきやアイディアが浮かびワクワクしながら作業をしています。妻からは木くずを落としてから家に入るよういつも注意されていますが、時には「大きさも表情もみな違って魅力がある」と褒めてくれることもあります。それぞれの木の魅力を引き出し、温かみのある作品を作り、いつか作品展ができればいいなと思っています。

『耕人塾』にもいろんな学校からいろんな人たちが集まっています。それぞれに個性があり、性格やものの考え方も違いますが、それぞれの持っている力(人間力)を磨き、自分の良さを発揮すれば、さらに魅力的な『耕人塾』になりますね。

---

## 民塾長のちょっとうれしい話5

投稿日時 : 2020/10/07  admin カテゴリ:

先週、家の前にある嘉右衛門堀の草刈りをしました。100mほどの土手を年に4,5回草刈りするようになってからかれこれ30年近くになります。最近、公園や曾波神駅周辺の草刈りをしてくれる人もいて地域の環境がとてもよくなり、朝夕も明るいあいさつが交わされています。刈り終えて帰ろうとしたら、角の家の2階から「木村さーん、いつもありがとうございます」という声に、疲労感と汗が吹っ飛び

ました。数日後、角の家の人の声掛けをまねて、「きれいに刈っていただいてありがとうございます」と言ったら、「お互い様」という声と笑顔が返ってきて、爽やかな温かい気持ちになりました。あいさつ一つで爽やかさや温かさが水紋のよう広がるんですね。

「あいさつ」は『耕人塾』の実践事項の一つですが、どのような「あいさつ」したら相手の心に響くのかを考えながら実践してみませんか？

---

## 民塾長のちょっとうれしい話 4

投稿日時 : 2020/10/02  admin カテゴリ:

個人的なことで恐縮ですが、57回宮城県芸術祭彫刻公募展で抽象彫刻「生命」が宮城県芸術協会賞をいただいてしまいました。実は、コロナ禍の影響ですべての美術展が中止になり、たまたま河北美術展に出す予定だった作品を出品し、思いもかけない賞をいただきうれしく思いました。昨年からは木の素材を生かすために抽象彫刻にも挑戦しています。今回の作品は震災で倒された直径1mほどの樺の原木をチェーンソーと鑿で、命の神秘さや強さとはかなさを木の持つぬくもりを生かして制作してみました。展示されている自分の作品を見るといつも貧弱に見えて恥ずかしい気持ちになりますが、自分の未熟さを自覚しながらこれからも挑戦してみたいと思っています。

塾生の皆さんも『耕人塾』の活動を通して何かに挑戦してみてください。うまくいかないこともあるかもしれませんが、いつかきっといいことがあると思いますよ。

---

## 民塾長のちょっといい話11

投稿日時 : 2020/09/26  admin カテゴリ:

9/22 (火) 9:00「敬老の日」石巻南浜復興祈念公園の植樹祭に参加しました。コロナ禍のため規模を縮小しての開催でしたが、100人ほどの人が集まり『耕人塾』関係者も15人参加しました。爽やかな秋晴れの下、松などの苗木を1m間隔に植えていくのですが、その下準備がすごいのです。数千本の苗木は種子や挿し木で2~3年かけて育てたもので、植える場所にバランスよく置かれ、用具はすべて準備されていて苗木を守るための防風ネットも張られていました。植え方の説明を聞いた後、移植ベラで土を掘り、水をやって苗木を植えて丁寧に土をかけ、しっかり育ってくれるよう祈りました。苗木を植えているとなぜか心が温かくなってくるのを感じました。10年後どのように成長するかがとても楽しみです。

苗木を育てたり前日から準備したりしてくれる人たちのお陰で、充実した楽しい活動ができました。『耕人塾』の活動も企画から活動準備までしてくれる人たちのお陰ですね。

---

## 民塾長のちょっといい話10

投稿日時 : 2020/09/18  admin カテゴリ:

またまた障害児放課後支援施設のいい話です。9/12(土)、須江山での栗と胡桃拾いのお手伝いをしました。大雨警報が出ていたのですが活動の時間帯は奇跡的に雨が止み、静かな山に子どもたちの歓声がこだましました。栗はまだ小さかったのですが胡桃はたくさん拾うことができ、私も「民男先生！」と呼ばれて〇〇歳も若返りました。子どもたちには拾った数だけ今年の胡桃と交換し、帰ってから胡桃を割



って手作り楊枝で食べてもらいました。A子ちゃんの感想文です。「民男先生へ、今日のくりひろいは、とても楽しかったです。くるみを割っているすがたがとてもクールでかっこよかったです。また、一緒にくりひろいを二人でしたいですね。」褒められると何歳になってもうれしいものですね。

今回の活動で留意した点は3つです。①子どもたちが楽しくなる仕掛けを作ること、②準備はするが役割分担を明確にすること、③お手伝いなので出すぎないこと、です。

---

## 民塾長のちょっといい話 9

投稿日時 : 2020/09/12  admin カテゴリ:

9/5(土)障害児放課後支援施設での釣りのお手伝いを頼まれました。残念ながら天気予報は朝から雨だったので実施するかどうかを電話で確認したら「やります」という力強い返事が返ってきました。早めに漁港の岸壁に行って準備をしていたら案の定小雨がぱらついてきて、子どもたちが着いた時には本降りになってきました。私は車の中で待機させるのではないかと考えていたのですが、子どもたちがそれぞれにゴミ袋を被って車から飛び出してきました。どの顔も雨に濡れることなどお構いなしで嬉々として魚釣りを始めたのです。中には水たまりで遊んだり空を見上げて顔と両手で雨を受け止めたりしている子どもたちもいました。

最近、雨に濡れるということが少なくなっていますが、雨の中でも喜んで釣りをしている姿を見て、雨に濡れることを子どもたちは嫌いではないのかもしれないと思いました。それにしても施設長の雨でも釣りをするという決断になぜかいいなと思いました。

---

## 民塾長のちょっと思案している話 1

投稿日時 : 2020/08/19  admin カテゴリ:

今年度から塾長として心掛けていることがあります。それは毎回塾生・教学委員全員と会話することです。7/18(土)の開塾式には残念ながら達成できませんでした。そこで、8/8(土)の2回目には開始1時間前に会場に行き、会場準備をしている教学委員と話をすることから始めました。特に、今年新しく教学委員になっていただいた数名については職業や出身、趣味なども聞くことができ、新鮮な気持ちになりました。塾生については来た人から順に私のところに来てもらい、出身校や学年、部活動などを確認し、励ましの一声を掛けることにしています。遅れて参加した塾生については活動の合間に声を掛けることにし、達成することができました。次回からは会話の内容を深めていきたいと思っています。

『耕人塾』の実践事項の一つに「あいさつ」がありますが、あいさつや会話が人の心を繋ぐ架け橋になりますね。どうしたら会話の質を高めることができるかを思案しています。

---

## 民塾長のちょっといい話 8

投稿日時 : 2020/08/10  admin カテゴリ:

1か月ほど前にI小学校を訪問した時のことです。玄関の小さな黒板に「ようこそ木村民男先生」と板書されてスリッパが揃えてあり、教頭先生が玄関まで出迎えてくれました。校長室に入る前に職員室に顔を出したら、先生方が笑顔で挨拶をしてくれました。駐車誘導も含めて恐縮するくらい丁寧な対応なのに、さりげない爽やかさは普段から誰にでもやっていることなのだろうと感じました。帰り際に、玄

関で出会った女子児童が私を見て「あれ！この人見たことある」と言ったのです

。マスクをしていてわからなかったので名札を見たら、障害児放課後支援施設のお手伝いで何度か会ったことがあるA子ちゃんでした。校長先生も教頭先生もA子さんのことをよく知っていて話に花が咲き、楽しいひと時でした。

来客への対応は学校それぞれでよいと思いますが、先生方が明るく、子どもたちを大切に、来客をも大事にする学校経営は、きっといい学校なのだろうと思いながら帰宅しました。

---

## 民塾長のちょっとうれしい話 3

投稿日時：2020/08/04  admin カテゴリ:

8/2（日）『耕人塾』ホームページアクセス数が10万回を超えました。ホームページは『耕人塾』の活動を理解していただき広めるための大きな柱になっています。アクセス数が多いということは『耕人塾』の関係者だけではなく、活動に興味を持ったり応援してくれたりしている人たちもたくさんいるということです。それが10万回を超えたということはとてもうれしいことです。ホームページに詳しい人の話では、『耕人塾』のような人材育成関係のアクセス数が10万回を超えるのは珍しいことなのだそうです。

その陰には見やすいホームページを作ってくれた人や毎回活動内容を取材編集してくれている人たちのお陰です。今年度スタートしたコラム欄の「感応道交」についても、塾長の文章を毎回チェックしてくれている人がいて大いに助かっています。一つのことをなすということは多くの人たちの力が結集しているのですね。心から感謝しています。

---

## 民塾長のちょっと感動した話 2

投稿日時：2020/07/22  admin カテゴリ:

7月18日（土）コロナ禍で延期していた『耕人塾』の開塾式を「感染拡大防止ガイドライン」に基づいて万全を期して開催しました。塾生23名（2名欠席）を含めて60余名の参加の中、良いスタートを切ることができました。その陰には裏方に徹した多くのスタッフの支えがあって、成果に結び付いたのだと感じました。感動したことを3つ紹介します。

- ① 塾生の志が高く、挨拶をする時の姿勢や真剣な目の輝きに期待を持つことができた。
- ② 資料作成、名札やビブスの準備、会場設定や看板設置など「場の設定」が素晴らしい。
- ③ 終了後、教学委員と塾生が協力して後片付けや消毒する姿がとてもほほえましかった。

心配だった開塾式が多くの運営委員等に見守られる中、感動のある充実した内容になったことをとてもうれしく思いました。『耕人塾』1期生のT君の講話も塾生の心に響くととても良い内容でした。今年度は塾生のさらなる達成感につながる活動になりそうで楽しみです。

---

## 民塾長のちょっとかなわない人の話 1

投稿日時：2020/07/11  admin カテゴリ:

私の20代の頃の教え子にT君という人がいます。家庭の事情もあって中学校を卒業すると同時に自動車修理店に就職し、今でもそこで働いています。車のことで困るとすぐT君に相談します。T君は口数が少ないのですが的確なアドバイスをしてくれます。私はこれまで10台の車を乗り継いできましたがそのほとんどはT君に相談してきました。予算と用途だけ伝えたとそれに見合った納得の車を必ず探してきてくれます。他人のために一所懸命考えたり動いたりしてくれる姿にいつも「私はこのようにはできないなあ」と感心し、心から信頼しています。しかも、その言動がさりげなく、淡々と過不足なくやってくるところがすごいのです。T君は私がかねわない人の一人です。

『耕人塾』でもそれぞれの立場で活動を支え、「かなわない人」が沢山います。私は、私にできることを精いっぱいやっていくことがかなわない人に近づく一歩だと思っています。

---

## 民塾長のちょっとうれしい話 2

投稿日時 : 2020/07/07  admin カテゴリ:

7/4(土)から「コロナ禍」で中止していた「朝鍛会」（剣道の稽古会）を再開しました。全剣連からの通知をもとに感染拡大防止ガイドラインを作成し、細心の注意を払って準備しました。うれしかったのは、それぞれの担当が予想していた以上の配慮や動きをしてくれたことです。参加者名簿や体温計、石鹸や消毒液、マスク着用や換気などの気配りは見事でした。特に感心したのは、それぞれが2メートルの距離を保つための目印までつけてくれたことです。「信頼を得るためには頼まれたこと以上の仕事をするのだ」と先輩に教えられたことがあります。一人一人の動きを見て、とてもうれしくなりました。

『耕人塾』でも7/18の開塾式に向けて準備をしていますが、それぞれの分担で主体的に動いていただいていることに感謝しています。今期は教学委員に新しいメンバーが加わり、若いエネルギーを生かしながら、さらに充実した活動になるのではないかと楽しみです。

---

## 民塾長のちょっとザンネンな話 1

投稿日時 : 2020/06/29  admin カテゴリ:

先月、石巻駅前に子育て支援などの拠点施設として「石巻市ささえあいセンター」がオープンしました。石巻市子ども子育て会議に長く携わり待望の施設だったので、愛称募集に挑戦することにしました。練りに練って、心がほっとする温かな空間というイメージで「ほっとる」にし、早速応募しました。かなりの自信作だったので私の案に決定したら、マスコミなどの取材にどう答えようかとあれこれ考えていたのですが（笑）、残念ながら愛称は「ほっとお〜る」に決定したと新聞で知りました。ほっとする+みんなでというという意味だそうです。私の案もかなり近い名称でしたが、「ほっとお〜る」の方が響きもよく素敵な愛称ですね。ちょっと残念でしたが、若い人たちの感性は素晴らしいと感心しました。

『耕人塾』での「プロジェクトK」や「プロジェクトI」、「動くゴミ箱」などの名称も教学委員や塾生からのアイデアです。名称もまた、人を惹きつける大事な要素なんですね。

---

## 民塾長のちょっと感動した話 1

投稿日時 : 2020/06/20  admin カテゴリ:

先日、実家の山の草刈りを頼まれたので朝の涼しいうちに終わらせようと思い、家を4時に出発しました。外は既に明るく気温19℃、とても良い天気です。車の窓を全開にし、旧北上川を渡る初夏の清々しい風を感じながら、一路牡鹿半島を目指しました。東の空が少しずつオレンジ色に染まり、渡波の万石橋を渡っているときに女川方面の山から黄金色の大きな太陽が顔を出しました。その荘厳な美しさに心がジンとするくらい感動しました。「感動する人の心はいつまでも若い」と6月のカレンダーに書いてあるのを思い出してうれしくなりましたが、山の草刈りは傾斜がきつく、さすがに体力まで若くしてくれませんでした。

牡鹿半島の深緑や海の色も含めて、私たちは自然の中に育まれて生きているのだと改めて気づかされた感動の一日でした。だからこそ、自然をもっともっと大切にしなければならないのだと思います。『耕人塾』で実践している「ゴミ拾い」もその一つです。

---

## 民塾長のちょっと恥ずかしい話 1

投稿日時 : 2020/06/16  admin カテゴリ:

私にはTさんという木工の師匠がいて、困ったことがあるとよく相談に行きます。先日、親戚から頼まれた電話台がほぼ完成したので、塗装についてどの色のオイルステインにしたらよいか相談したところ、上塗りを何にするかを聞かれました。オイルステインは着色だけでなく上塗りも一緒にできると思っていた私は一瞬「!？」となってしまうました。なぜなら、ずいぶん前からオイルステインは着色と上塗り両方に使えると思っていて、友達にも自信をもって進めたことがあるからです。

改めて使用方法を読んでもみたら、⑧として「次にセラックニスを塗り、色押さえをしてください」とありました。細かいところまで読まないで早とちりしてこれまで自信たっぷりに使っていたことが恥ずかしくなりました。そういえば、小学校の通信簿に「民男君は時々早とちりしたり忘れ物をしたりすることがあります」と書かれていたことを思い出しました。

---

## 民塾長のちょっとワクワクする話 2

投稿日時 : 2020/06/01  admin カテゴリ:

先週、実家の兄から船外機 (6.4m×1.8m、0.5t) の台車を作ってくれと頼まれました。実際に使う甥の要望も聞いて大まかな設計図を書き、早速製作に取り掛かりました。限られた予算の中で利便性や強度、見栄えなどを考えていると思いきやかけないアイデアが浮かんでくることもあり、そのワクワク感がたまりません。今回の傑作 (自分で言うのもなんですが) は、船の形態に合わせて固定するための部材を取り付けたことです (文章では説明するのが難しいので省略します)。このアイデアは、高齢者でも簡単に固定できる方法はないかと悩んでいた時に浮かんできました。「策は必ずある」という考えは、ものづくりだけではなくすべてのことに当てはまると思っています。

『耕人塾』もこれまでにない対応が求められていますが、このような時だからこそできることがあるのではないかと思っています。そう考えるとワクワクしますね。

---

## 民塾長のちょっとうれしい話 1

投稿日時 : 2020/05/27  admin カテゴリ:

先日珍しいお客さんが訪ねてきました。「先生、奥さんと一緒に食べてください」と大きなタッパに入ったタケノコご飯を持ってきてくれました。旦那さんも一緒だったのですが、「コロナ」が心配だからと玄関での立ち話でした。私が30代前半の時の教え子ですからもう50代半ばです。中学校入学当時は体が丈夫な方ではありませんでしたが剣道部に入部し、頑張り屋さんで東北大会に出場するまでに成長した一人です。今でも忘れないで年に何回か顔を出してくれます。その心遣いがとってもうれしく感じています。

私にも恩師やお世話になった方々がたくさんおられるのですが、ご無沙汰しっぱなしだと反省させられました。これからはできるだけ便りを書き、できるだけ感謝を形に表したいと思っています。無理をせずできる範囲で、淡々とさりげなく...

A子さん、たけのご飯とてもおいしかったよ。うれしかったです。ありがとう。

---

## 民塾長のちょっとワクワクする話 1

投稿日時 : 2020/05/25  admin カテゴリ:

障害児放課後支援施設にお手伝いに行ったことがあります。小学校低学年から支援学校高等部の生徒まで十数人が登録しています。障害の種類も程度も違い、対応に戸惑うこともありましたが、「一緒に弁当を食べよう」と誘ってくれる子もいて楽しい一日でした。この子どもたちが喜んで遊ぶものを作ってやりたいと思っていたところ、経営者の方から外で使う組み立て式のテーブルを作ってくれないかという依頼がありました。

早速、子どもたちのことを思い浮かべながら安全や使い勝手などを工夫して完成させ持っていきました。次の日、子どもたちがとても喜んで使っていたと感謝されました。何歳になっても褒められるということは嬉しいものです。また何か作ってあげたいと思っています。

作るときに大切にしていることは、①子どもたちが喜ぶもの、②遊びが発展するもの、③壊れてもいいもの、です。どんなものを作るかワクワクしながら思案しています。

---

## 庭に咲く花からのメッセージ

投稿日時 : 2020/05/18  admin カテゴリ:

「今年も咲いたよ、バターコーン！」と喜ぶ私に、妻が「それ、バターカップね (^\_^;)」

毎春、咲くのを心待ちにしているのに名前をずうっと間違えていたとは、なんとも情けない限りなのですが、学名は「ラナンキュラス」、英名は「バターカップ」というそうです。

花の直径は1.5センチほどと小さく、八重咲きで黄金色に輝きながら盛り上がるように花びらを重ねる花で、花言葉は「まぶしいほどの魅力」です。



何かと浮かれがちな季節に「目立たずとも、自己を確立し、光り輝く人を目指せ」と私にメッセージを送ってくれる、大切な花となっています。(千)

## 民塾長のちょっと気になる話 1

投稿日時 : 2020/05/14  admin カテゴリ:

5月8日の石巻日日新聞に「渡波海水浴場に密集バーベキューごみ散乱」という記事が写真入りで載っていました。最近、ごみの散乱についてはとても気になっていたところですが。先日、牡鹿半島の実家に行く用事があり、県道2号線を通りました。残念ながら、広がっている車待機所の至る所にペットボトルや缶・ビンなどが捨ててあり、ビニール袋にごみが入ったままのももありました。

一部の人だとは思いますが、自然を汚しても気にしない人や自分の車がきれいであればよいという人がいるということに虚しさを感じます。

『耕人塾』での実践事項を「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」としたのも、そのような状況を少しでも改善したかったからです。「人間の幸福とは自分が豊かになるだけではなく、他人を喜ばすことである」という言葉を聞いたことがあります。塾生のごみを拾う姿を見て、賛同してくれる人が増えています。まず、ごみを捨てない人を増やしていきたいですね。

---

## 民塾長のちょっといい話 7

投稿日時 : 2020/05/09  admin カテゴリ:

「コロナ」の影響で、週3~4回の剣道や居合の稽古が全てなくなり、運動不足解消のため朝の散歩を再開しました。今朝は4時35分に家を出て、曾波神山を一周し、ごみを100個拾ってきました。この時間帯は車や人と会うこともなく、新緑の山々を眺め、鶯の声を聞きながらの散歩は格別です。

すがすがしい空気を胸いっぱい吸い爽やかな気分が家についたのが5時15分、丁度馬っ子山の頂上から朝日が顔を出しました。朝日を休いっぱい浴び、全てのものに感謝しながら手を合わせました。「ゴミ拾い」は『耕人塾』での実践事項の一つですが、自然を少しはきれいにした温かい気持ちになりました。

5月から今年2冊目の日記になり、題を「挑戦」から「創造」にしました。これまでやってきたことを土台に、新たなものを作り出したいと思っています。「コロナ」のマイナスをプラスに変えたいですね。

---

## 民塾長のちょっといい話 6

投稿日時 : 2020/05/03  admin カテゴリ:

緊急事態宣言のため三密を避け、須江山の平台解体作業をすることにしました。20年ほど前に須江の土地に古い電柱などを使って大人の遊び場を作り、バーベキューをしたりテントの中で本を読んだり、たくさん楽しませてもらいました。数年前から木が腐ってきたので、いつか解体しなければと思っていたところでした。

誰もいない山の中は静寂そのものです。栗や胡桃の木が一斉に芽吹き、遅咲きの山桜が淡いピンクの花びらを付けています。雲が静かに流れ、早春の爽やかな風が汗を運んでくれます。どこからか鶯の声も聞こえ、心も体も自然の中に溶け込んでいくような気がします。「コロナ」が自然の素晴らしさに気づかせてくれました。

「ないものを嘆くのではなく、あるものに目を向ける」火災により店と家族を一度に失った小川与志和さんの言葉です。この機会に自分の足元を見つめ直したいと思っています。(民塾長)

---

## 民塾長のちょっといい話 5

投稿日時 : 2020/04/29  admin カテゴリ:

「『耕人塾』サポーターの会」を立ち上げてはどうか。」昨年暮れに運営委員のSさんから嬉しい提案がなされました。『耕人塾』を物心両面から支え、更に主体的な活動につなげたいという熱い思いからでした。早速、運営委員数人がHさんの事務所に参集し、設立準備会を開催しました。「すべての根幹は人材である」、「若い人を育てることが今求められている」など積極的な意見が交わされ、『耕人塾』への期待と支援を惜しまない情熱に、大きな力と勇気をいただきました。「サポーターの会」組織等の素案が決定し、具体的なことについては後日決めることになりました。

現在、緊急事態宣言発令中で、その後会議は開かれていませんが、「塾生OB会」と共に「サポーターの会」がこれからの『耕人塾』を牽引する大きな力になると期待をしています。

「『耕人塾』サポーターの会」立ち上げの熱意にあらためて感謝！

---

## 民塾長のちょっといい話 4

投稿日時 : 2020/04/27  admin カテゴリ:

外出自粛でテレビを見る時間が多くなり、2週続けて「下町ロケット」を観ました。中小企業の佃製作所は卓越した技術力でロケット部品製作に挑戦する中で、大企業との軋轢やライバル社との競争で大きな壁にぶつかったり挫折したりします。そのような困難を乗り越えて夢を実現させていく社長と社員の情熱に感動しました。

『耕人塾』では若い人材を育成し、「あいさつ・清掃・ごみ拾い」を通して「世界に誇れる石巻地域にする」ことを目指しています。これまで様々な活動を展開し、少しずつではありますが、成果に結びついていることに満足していました。その晩、「下町ロケット」の佃社長のことが頭から離れず、塾長である私自身の情熱と人を生かす力がまだまだ足りないのではと反省させられ、今朝の日記に「夢と感動を作り出せ！」と大きく墨書しました。

・・・妻に話したら「ドラマに勝てるわけがないでしょ」と笑われてしまいました。

---

## ちょっといい話 3

投稿日時 : 2020/04/21  admin カテゴリ:

今回は「耕人塾塾生OB会（仮称）」立ち上げについてお知らせします。

発案者のT君は『耕人塾』1期生で、現在は教学委員として活動しています。1月に「耕人塾塾生OB会（仮称）」立ち上げの発起人であるT君の仲間3人と話す機会があり、それぞれから『耕人塾』で学んだことや感謝を形に表したいと意欲的な提案がありました。話題が活動内容等で盛り上がった後、T君は「私たちも楽しみながら活動したいですね」と笑顔で話してくれました。「楽しみながら」という言葉に、柔らかさと温かさ、そして頼もしさを感じました。

若い人たちの夢のある話はいいですね。現在全国に緊急事態宣言が出され、『耕人塾』も我慢の時期ですが、作家の山本一力氏の言葉に「明日は味方」があります。T君たちの力も借りながら『耕人塾』も未来志向で取り組んでいきたいと思っています。（民塾長）

---

## ちょっといい話2

投稿日時 : 2020/04/17  admin カテゴリ:

皆さんおはようございます。新型コロナウイルス対応で苦労されていることと思います。『耕人塾』も開塾式を7月18日(土)に延期し、運営委員の何人かに電話連絡しました。その中の一人、Iさんはレストランやフィットネスクラブなどを経営している社長さんです。『耕人塾』の今後の対応について報告した後、大変な状況であろうと話したら「このような時こそこれまで勉強してきたことを生かしていきたい」という力強い言葉が返ってきました。

「過去が咲いている今未来の蕾で一杯な今」は陶芸家河井寛次郎氏の言葉です。このような危機の時こそ自分はどう生きてきたか、何を大切に生きていくかが試されるのだと思います。『耕人塾』でもこの逆境を順境に変えていかなければならないのだと、Iさんから大きな勇気をいただきました。（民塾長）

---

## ちょっといい話

投稿日時 : 2020/04/16  admin カテゴリ:

皆さんおはようございます。塾長の木村民男と申します。今年度から『耕人塾』ホームページに「感応道交」を立ち上げました。「感応道交」とは仏教の教えで、教える者と教えられる者の気持ちを通じ合うことですが、私は「何かに触れて感じた心が周りに共鳴し、広がっていくこと」と解しています。『耕人塾』に関係する人が「感応道交」を通じてそれぞれ感じたことを書いていただき、その輪を広げていきたいと思っています。私も時々書きますが、皆さんのご意見を楽しみにしています。

まず、私が感じた「ちょっといい話」を書きます。先日、石巻の住吉方面から石巻専修大学に車で向かっていた時、宮交バスの車庫の前の信号が黄色になりました。バスが待機していたので、停止線よりかなり前で車を止めました。運転手さんは右手を挙げながら笑顔で深々と頭を下げて静かに右折してきました。その後、左折のバスが歩道で待っていた女性へ「どうぞ」というように手のひらを上にして道を譲りました。その女性は会釈をし、私にまで笑顔で頭を下げていきました。

とっても心温まる気持ちでした。（民塾長）

---

## 3つの合言葉

投稿日時 : 2020/04/15  admin カテゴリ:

STAY SAFE : 元気で

STAY HOME : 家で過ごす

SAVE LIVES : 命を守る（救う）



(マンデリン)

## 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組に協力しましょう

投稿日時 : 2020/04/15  admin カテゴリ:

宮城県内でも新型コロナウイルス感染者が増え続けています。これに伴い、耕人塾の予定も大幅に変更されます。開塾式は今のところ7月18日（土）です。互いの人間力を磨き、地域のために貢献しようとする志をもった皆さんの参加を心よりお待ちしております。

さて、今は感染拡大の防止を第一義に考えるべき時です。要請に応じて多くの国民が外出自粛を行う日本は、高い民度を持つ国なのだと誇らしく思います。

感染の収束に向けて今は我慢の時です。心を一つにして頑張りましょう。(マンデリン)

### メニュー

[ホーム](#)

[耕人塾の活動](#)

[報道・受賞](#)

